

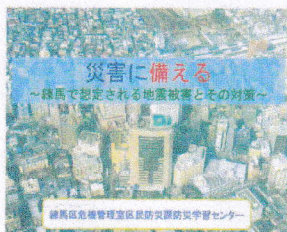
防災講座 報告

「災害に備えて」正しく理解し
しっかり備えよう!!

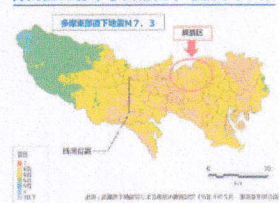
7月26日13時より、練馬区防災学習センターによる
『防災講座』を行いました、報告します。



- 練馬区の被害想定
- あなたの家は大丈夫？
- 地震で生き延びる為に
- トイレの備蓄は大丈夫？



練馬区における首都直下地震のリスク



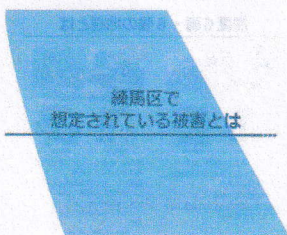
安心ストック

非常時、電気・ガス・水道等のライフラインが途絶えたとしても、何日間かは自宅での生活が可能なよう、必要物資を備蓄しましょう！

- 飲料や飲料水は、最低3日間分、できれば1週間分。
- ライフラインが止まった事で被災生活を過ごすことになるかも知れません。家族構成にあったストックを考えましょう。

揺れがおさまったあと

- ◆家族の安全を確認
- ◆隣近所の安全、火災があれば協力して初期消火
- ◆自宅や周辺の建物の倒壊・火災の危険があるときは避難場所へ避難しましょう。



震度6弱・6強の地震とは



日常備蓄のおすすめ

- 日常備蓄
・日頃から自宅で利用しているものを少し多めに備えることで、発災時にも、自宅で当面生活することが可能になる

ローリングストック法

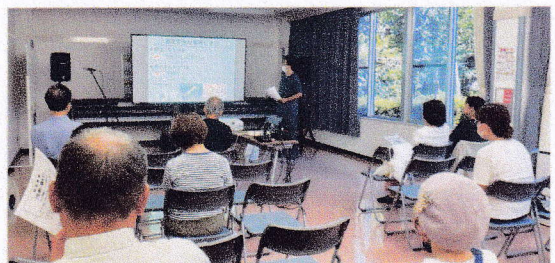
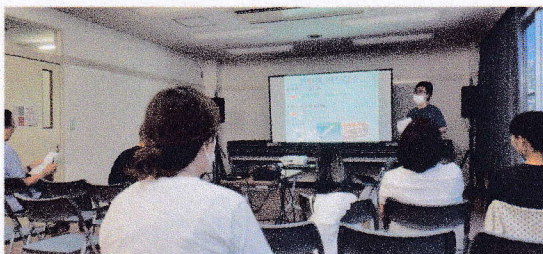
- ・多目に食材を購入する
- ・定期的に食べる
- ・減った分を買い足す

避難拠点とは

避難所 + 防災拠点 = 避難拠点

練馬区立の全小中学校のこと

- 避難拠点は、震度5弱以上の地震が起きた場合に建物の安全が確認されたのち、開設されます。
- 阪神・淡路大震災の被害や避難の状況から、練馬区独自で定めた制度です。



主催：谷原5丁目防災会 共催：谷原町会

谷原町会
2025.8.1
掲 示